平成24年度（対23年度実績）

事　務　事　業　評　価　表

作成日　平成　24　年　5　月　31　日

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤　幹郎	電　話	483-6157

1．事務事業の位置付け・概要（ＰＬＡＮ）

コード	9844	事務事業名称	ポンプ場改良事業	短縮コード	経常	9844	臨時	

予算区分	会計	62	公共下水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	公共下水道施設改良費

区　分	☑ 自治事務　☐ 法定受託事務　☐ その他	根拠法令等	下水道法

事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）

江東処理分区内に位置する「村上第１汚水中継ポンプ場」，「村上第２汚水中継ポンプ場」は，両ポンプ場ともに昭和５１年４月の供用開始から３０有余年が経過し，老朽化しているため，村上第１汚水中継ポンプ場を廃止するとともに，村上第２汚水中継ポンプ場を改築更新するものである。

事務事業を取り巻く状況の変化　又、今後の変化の推測

村上第１汚水中継ポンプ場の計画汚水量は，上流部での人口減少により計画時よりも減少している。

総合計画の施策体系		
６本の柱（章）	05	第５章快適生活都市をめざして
大項目（節）	04	第４節下水道
中　項　目	01	1．下水道
小　項　目	02	(2)汚水排水の整備
細　項　目	01	①汚水施設の整備拡充
実施計画の計画事業	5086	ポンプ場改良事業

計画事業の位置付けの有無	☐	計画事業期間	～	計画事業費	千円

２．事務事業の目的・指標・実績（ＤＯ）

対象（誰を何を対象にしているのか）	改良を必要とするポンプ場（村上第１汚水中継ポンプ場及び村上第２汚水中継ポンプ場）
手段（具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 村上第２汚水中継ポンプ場（機械，電気設備）更新及び耐震補強・建築設備工事 村上第１汚水中継ポンプ場財産処分に係る申請書作成業務 ※平成24年度に計画していること： 村上第２汚水中継ポンプ場（機械，電気設備）更新及び耐震補強・建築設備工事 村上第１汚水中継ポンプ場財産処分に係る申請書作成業務
意図（何を狙っているのか）	村上地区から印旛沼流域関連公共下水道の接続点までの汚水流下機能の確保
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区　分			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標１	改良を必要とするポンプ場	機場	2	2	2	2
	指標２						
	指標３						
活動指標	指標１	設計業務費用	千円	19,635	0	0	0
	指標２	工事費用	千円	0	268,695	88,221	574,697
	指標３						
成果指標	指標１	事業進捗状況（工事着工後）	%	0	35.6	13.4	100
	指標２						
	指標３						
上位成果指標	指標１						
	指標２						
	指標３						

コード	9844	事務事業名称	ポンプ場改良事業	所属名	建設課

			単位	２２年度	２３年度		２４年度
				実績	計画	実績	計画
事業費(A)	財源内訳	国	千円		140,395	45,433	296,787
		県	千円				
		地方債	千円		140,300	45,300	296,400
		一般財源	千円	19,635	5,577	1,079	12,832
		その他	千円				
	主な事業費の内訳			委託料19,635千円	委託料17,577千円 工事費268,695千円	委託料3,591千円 工事費88,221千円	委託料22,481千円 工事費431,771千円 委託料（前年度繰越）8,841千円 工事費（前年度繰越）142,926千円
人件費(B)			千円	7,478.6	7,298.5	15,858.1	15,858.1
トータルコスト(A)＋(B)			千円	27,113.6	293,570.5	107,670.1	621,877.1

３．事務事業の評価（ＳＥＥ）

評価類型	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☑ 結び付いている ☐ 結び付くが見直しの余地がある ☐ 結びつきが弱い・ない ☐ 評価対象外事項	汚水排水の整備として実施しており，結びついている。
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している ☑ 達成していない ☐ 評価対象外事項	平成２４年度の完成後も，新たな改良が継続し必要となる。
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）	☐ 可能性はある ☑ 可能性はない ☐ 評価対象外事項	下水道法により，事業の計画・実施は市が行うものと義務付けられている。
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☑ 現状のままでよい ☐ 見直す必要がある ☐ 評価対象外事項	現在の計画を推進することを目的とした事業である。
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性がある ☐ 効率性向上の可能性がある ☐ 両方可能性がある ☑ 可能性がない	平成２１年度から設計を行い，平成２３年度から工事に着工。このまま継続し，平成２４年度の工事完成予定及び財産処分予定に向けて推進していく。
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等 ☐ 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用 ☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し ☐ 受益者負担の見直し ☐ 類似事業との統合・役割見直し ☐ 上記以外の方法	類似事務事業名称 1：　　実施主体（所管部署）： 類似事務事業名称 2：　　実施主体（所管部署）：
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）	☐ ある ☐ ない	

コード	9844	事務事業名称	ポンプ場改良事業	所属名	建設課

今後の方向性

⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。

- ☐ 改革・改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☑ 現状のまま継続

市民生活の根幹的施設であることから，継続的な改良及び財産処分による統廃合を行う。

⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。

		経費		
		削減	不変	増加
成果	向上	☐	☑	☐
	不変	☐	☐	☐
	低下	☐	☐	☐

市民生活の根幹的施設であることから，継続的な改良及び財産処分による統廃合を行う。

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

無し。

所属長コメント

昭和51年4月の供用開始から35年経過し，経年変化による老朽化が著しい。市民生活の根幹的施設であることから，村上第２汚水中継ポンプ場を平成24年度までに改良工事を実施し，今後，村上第１汚水中継ポンプ場を廃止していく。

評価調整委員会評価

- ☐ 改革改善して継続
  - ☐ 手法プロセスの改革・改善
  - ☐ 事業規模の拡大・縮小
  - ☐ 統合・役割見直し
  - ☐ その他
- ☐ 廃止・休止
- ☐ 事業完了
- ☑ 現状のまま継続

担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。